

イノベーション推進本部 (IXI)

2023年度の成果

23年度はイノベーション推進本部 (IXI) が大きく羽ばたいた1年でした。最も象徴的なできごととは、IXIを母体に、オムロンの5つ目のビジネスカンパニーとなるデータソリューション事業本部 (DSB) が設立されたことです。

DSBのミッションは2つです。1つは、オムロングループに加わったJMDC社の成長を加速すること。そしてもう1つは、JMDC社が持つデータマネジメント力、ソリューション開発力と、オムロンのデバイスやコンポーネントから得られる膨大な現場データを組み合わせることで、オムロンのビジネスモデルを進化させるとともに社会的課題の解決につながる成長事業を創造することです。ビジネスモデルも企業カルチャーも異なるJMDC社とオムロンが協業するに至ったのは、健康経営アライアンスの立上げをはじめ、IXIを中心にオムロンだからこそ実現できるアプローチを、スピード感をもって実行し、互いにベストパートナーとして信頼関係を築き上げてきたからにはほかありません。

もう1つのできごととは、IXIで事業仮説を検証し、インキュベーションを行ってきた2つの社内スタートアップ、データ活用ソリューション事業と自立支援事業がサービスローンチしたことです。両事業は、DSBの設立に伴って24年度からDSBへ移管し、それぞれ25年度、26年度内の黒字化を目指して売上成長を加速しています。

事業創造アプローチの進化

DSBの設立により、オムロンの新規事業創造とビジネスモデルトランスフォーメーションの戦略が明確になりました。DSBの注力事業はいずれも、データヘルスケアや製造業のカーボンニュートラル実現支援など、これまでIXIで旗を立て推進してきたテーマに基づくものです。これからIXIは、DSBの注力事業を「ステップストーン (置き石)」として、その周辺事業を先回りして拡張し、成長を加速することに注力します。

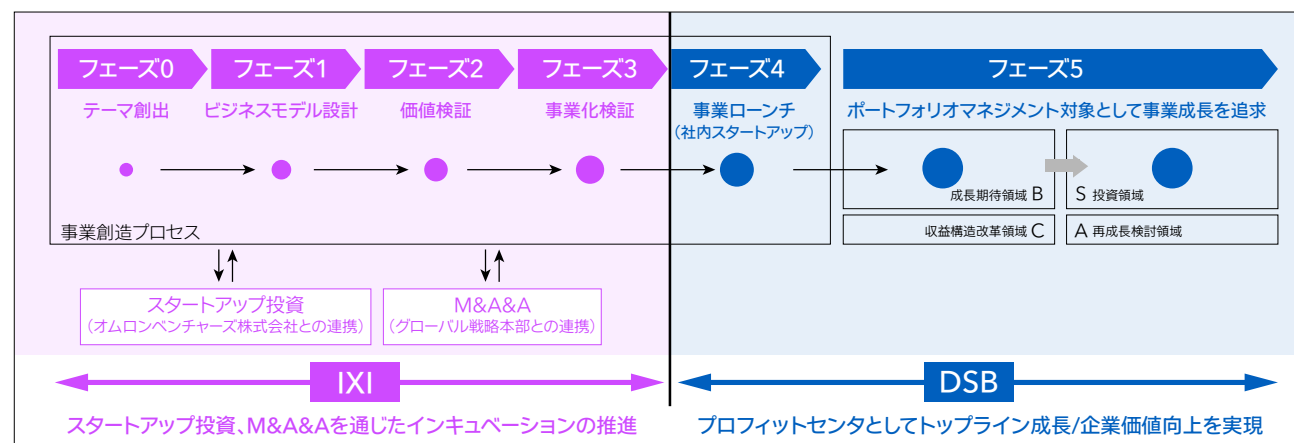
周辺事業を創っていくにあたっては、アイデアベースで事業の種を育てていくのではなく、M&A&A (最後のAはアライアンス) やスタートアップとの共創など、オープンイノベーションを前提とした進め方にシフトします。中長期視点で新規事業の構

想を描き、DSBや他のビジネスカンパニーの事業拡張戦略と連動してオムロンの成長に貢献します。

オムロングループ全体のDX推進

23年度から、IXIをCoE (Center of Excellence) として生成AIを活用した全社ビジネスの革新に取り組んでいます。NEXT2025を進める中、DXによる全社の業務プロセス変革は不可欠ですが、その取り組みを全社横断で推進するには強力な推進エンジンが必要です。新規事業の価値検証・ビジネス変革を行ってきたIXIのノウハウをNEXT2025にも活かす形で、全体の変革をリードしていきます。

新しい事業創造アプローチ



イノベーションカルチャーを全社へ

IXIのミッションの1つに「人財の育成」、即ち全社イノベーションを牽引できる人財を多産することがあります。23年度の成果であるDSBの設立やオムロングループ全体のDX推進を実現できているのは人財ポートフォリオの強化と人財育成があってこそです。

IXIの人財育成を体系化したものとしてEX(Employee Experience)ジャーニーというフレームを導入しています。その狙いは、IXIのメンバーになってから一日も早くパフォーマンスを発揮してもらい成果創出につなげることで、そして出向等でIXIに参画した社員が各組織に戻る際にイノベーションカルチャーを持ち帰り広めることです。入社(異動)前から参画、初日、キャリア開発、そしてIXIを卒業した後までも含めて目指すべき「従業員体験」が考えられています。

EXジャーニーを導入した結果、社内外から集まった多様なバックグラウンドを持つ社員がそれぞれの強みを生かしながら新規事業創造やオムロン全体のDX推進に挑むことができています。IXIで経験を積んだ社員がIXIを卒業して各組織にイノベーションカルチャーを持ち帰ることも増え、スピード感やバリューアップ(上司部下の立場に関係なくよりよくするためのアイデアを出し合う)というオムロン全体のカルチャー変革にもつながっています。

さらなる飛躍に向けて

IXIは23年度に大きな進化を遂げましたが、IXIが目指すことは変わりません。オムロン全社のイノベーションプラットフォームとして、また、挑戦を学びに変える実験的組織として、ビジネスカンパニーの枠を超えた事業創出を目指すとともにオムロンの企業価値最大化に貢献していきます。

コラム1：健康経営アライアンスの設立

健康経営アライアンスは、「社員の健康をつうじた日本企業の活性化と健保の持続可能性の実現」をビジョンに設立された企業間連携の枠組みです。IXIのもとで企画を具現化し、代表幹事企業9社(オムロンを含む)とともに、業界・業種・企業の垣根を越えて省庁や学術機関とも連携する枠組みを作り上げてきました。設立から1年強で424社・団体[※]が参画するまでに活動が広がり、企業の先進的な取り組みを相互に共有しあうプラットフォームとしての活動の形ができました。24年度からは、より実践的に、企業間で協働して成果を創出する分科会活動に注力し、さらなる進化を目指します。

※24年8月29日現在



健康経営
アライアンス

> 健康経営アライアンス

コラム2：生成AI活用推進プロジェクトの推進

新規事業の価値検証・ビジネス変革を行ってきたIXIのノウハウをオムロン全社に活かす「生成AI活用推進プロジェクト(AIZAQ)」を開始しました。生成AIを活用して生産性を高めたい、顧客への提供価値を革新したいという強い意志を持った200名を超える人財が全社から集まり、IXIが中心となってプロジェクトを推進しています。生成AIの知見があり技術的にサポートできる社員はもちろん、未経験でも普段の業務効率化に危機感を持ち変革したいという社員も含め、部長クラスから若手まで、幅広い層が役職や年齢・部門に関係なく手を上げ、トライ&ラーンを実践しています。

最初は生成AIが活用できそうなテーマを全社的に募ってテーマ別に人員を配置し、目標設定や活用検証を始めました。取り組みから半年で、生成AIを活用する上での課題を明らかにするとともに、およそ20のユースケースに対して具体的な成果に導きました。例えば製品に関する顧客アンケートの集計・分析というテーマでは、既存の作業を生成AIに置き換える検証を行い、一定の成果があったため他部門にも横展開する方向となりました。24年度からは年間50のユースケースを継続的に開発し、全社的なナレッジの蓄積・共有と成果の横展開などさらなる成果創出を目指します。